

1. 建物概要

建物名称	(仮称)障害者支援施設 百花園 下川原 新築工事	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★
------	--------------------------	-----	-----	--------	----	----

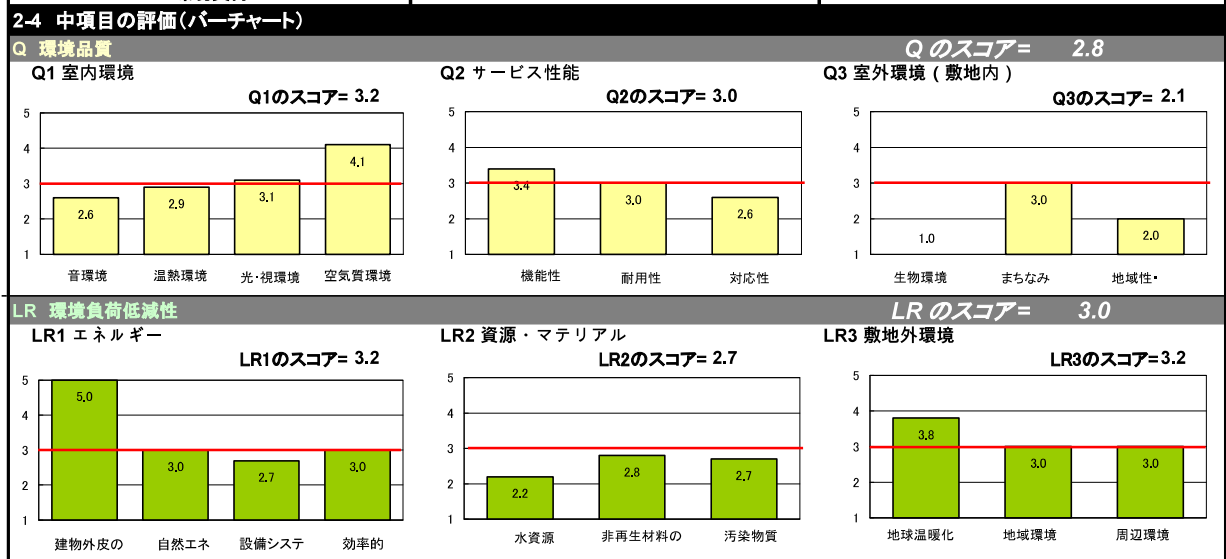
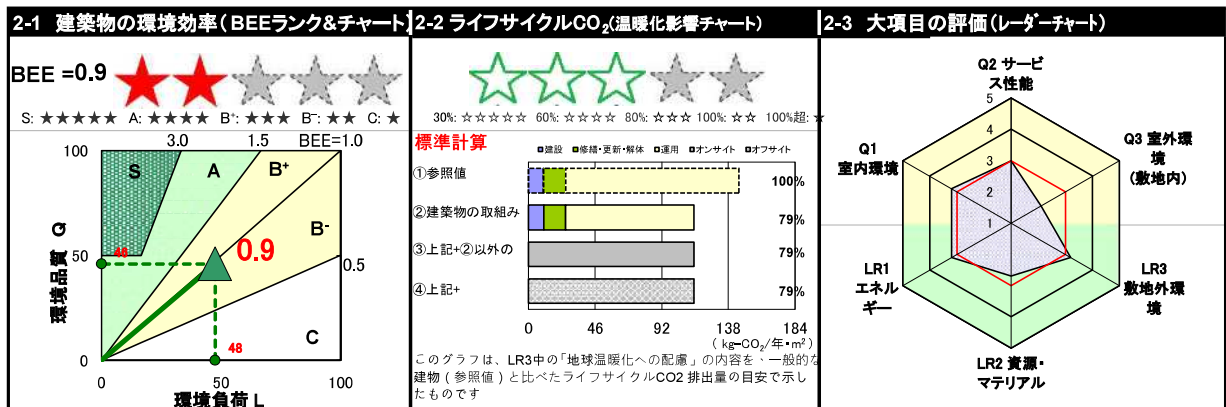
2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.6 /5	    	がんばろう 
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0 /5	    	ふつう 
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5 /5	    	がんばろう 
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5 /5	    	がんばろう 
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上 	ふつう 3 点以上 
			がんばろう 3 点未満 

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。	内訳対応項目	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)	得点	2.6
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ・室内環境については、内装材はすべてF☆☆☆☆認定品としている。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ・室外環境については、フリーアクセスフロアを採用することや適切な量の駐車場、駐輪場を設けてことで配慮している。 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ・設備の高効率化を図っている。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ・フリーアクセスフロアを採用している。 ・LGSを採用している。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ・適切な量の駐車場、駐輪場を設けている。	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制 LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒 LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)	得点	3.0
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)	得点	2.5
■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ Q-3 3 3.1 ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)	得点	2.5
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑦まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) ■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)	Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 2 ⑦ まちなみ・景観への配慮 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 LR-2 2 2.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 LR-3 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善	

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)障害者支援施設 百花園 下	階数	地上3F	
建設地	静岡県静岡市駿河区下川原2丁目7	構造	S造	
用途地域	高度地区、法22条区域、第1種住居	平均居住人員	142 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年6月28日	
敷地面積	3,397 m ²	作成者	平井工業株式会社 一級建築士事務所	
建築面積	871 m ²	確認日		
延床面積	2,388 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合		
室内環境については、内装材はすべてF☆☆☆☆認定品としている。 室外環境については、フリーアクセスフロアを採用することや適切な量の駐車場、駐輪場を設けてことで配慮している。 これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
内装材はすべてF☆☆☆☆認定品とする	個室10m以上にするこでゆとりのある空間を提供している。	植栽条件に応じた適切な植栽を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
設備の高効率化を図っている。	フリーアクセスフロアを採用している。 LGSを採用している。	適切な量の駐車場、駐輪場を設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される